

システム変更等のお知らせ

(2004.3.8 - 2004.5.10 変更)

システム運用係

1 ハードウェア ... なし

2 ソフトウェア ... なし

2.1 HI - UX / MPP ; mpp-s, mpp-p, mpp-bt ... なし

2.2 VOS3 / FS ; m-vos ... なし

2.3 HI - OSF / 1 - MJ ; m-unix ... なし

2.4 HI - UX / MPP ; batch ... なし

3 その他

3.1 システム構成の変更について

2004年4月1日よりシステム構成が変更になりました。主な変更は以下のとおりです。

- 昨年度までバルク利用システムとしてサービスしていた SR8000/128 は、今年度からバッチジョブ専用システムとしてサービスを行います。本システムはバッチジョブ専用システムのため、ログインによる利用はできません。

SR8000/MPP については従来どおりの構成であり、インタラクティブシステムの mpp-s 及び mpp-p、バッチシステムの mpp-bt となります。

各バッチシステムへのジョブ投入は mpp-s 又は mpp-p から行い、投入先システムにより以下のパイプキューを使用します。

投入先システム	パイプキュー	バッチキュー
SR8000/MPP (mpp-bt)	mpp-single	A ~ F、A-ES ~ F-ES
	mpp-parallel	P001 ~ P128
SR8000/128 (batch)	single	A ~ F、A-ES ~ F-ES
	parallel	P001 ~ P032

利用申請されたコース、オプションによって利用できないバッチキューがあります。

各バッチキューの制限値については本誌「ジョブクラス制限値」を参照して下さい。

- SR8000/128 システムがバッチジョブシステムに変更したことに伴い、ローカルに接続されているディスクに長期保存ファイル用ディスク /batch、短期保存ファイル用ディスク /short/batch を新設しました。/short/batch の保存期間は、新規作成日及び最終更新日より 15 日間となっておりますので御注意下さい。
- 短期保存ファイル /short/mpp-s、/short/mpp-p の保存期間を従来の 15 日間から 5 日間に変更しました。この 2 つのディスクには今年度から利用負担金を課さず、利用上限の制限も設けていないため、資源が枯渇すると考えられます。このため、不要になった大容量のファイルが保存期間を過ぎるまで放置されないように、従来の保存期間より短い期間を設定しましたので、御承知おき下さい。
- 利用負担金制度の変更により、支払コードを廃止しました。今後は全システムにおいて、支払コードの設定をしないようお願いいたします。設定したままジョブを実行しますと、支払コードは既にないためエラーとなりジョブが実行されません。

バッチジョブで使用するディスクについて

本センターのスーパーコンピューターには /home、/batch という長期保存ファイル用のディスクと、/short/mpp-(s,p,bt)、/short/batch という短期保存ファイル用のディスクがあります。これらのディスクは以下のようにそれぞれサブシステムに接続され、また、互いに NFS マウントをしていますが、予期せぬ障害でシステムがダウンすることがあります。その際、NFS マウントされているディスクが参照できなくなってしまうため、そのディスクを参照するバッチジョブは異常終了してしまいます。

そのような状況にならないためにも、バッチジョブ実行時はローカル接続されているディスクを利用されますようお願いいたします。

システム	ホスト名	ディスク
SR8000/MPP	mpp-s	/short/mpp-s
	mpp-p	/short/mpp-p
	mpp-bt	/home, /short/mpp-bt
SR8000/128	batch	/batch, /short/batch

また、以下の作業時間帯についても御注意下さい。

(1) SR8000/MPP 超並列 (128 ノード) ジョブ実行サービス開始・終了時

毎月第一金曜日の 19:00 から翌週の月曜日 (休日の場合は翌日) の 8:30 までの期間、超並列ジョブ実行サービスを SR8000/MPP システムで実施しており、サービス前後の約 1 時間はシステム構成切り替え作業のため、一時サービスを停止します。

その際、SR8000/128 システムについては通常どおりサービスを行っておりますが、システム作業中に SR8000/128 で新たに実行し始めたジョブが SR8000/MPP のディスクを参照している場合、読み込むことができずに異常終了となります。したがって、超並列ジョブ実行サービス前後のシステム作業中は SR8000/128 のバッチキューを一時停止することとしましたので御承知おき下さい。なお、システム作業開始時点で SR8000/128 で実行しているジョブについてはそのまま実行し続け、異常終了となる場合がありますので、重ねて御承知おき下さいますようお願いいたします。

(2) SR8000/128 の月末処理時

毎月末(土日の場合は金曜日)は月末処理を行うため、SR8000/128 によるサービスを一時停止します。その際、SR8000/MPP は通常サービスを行っておりますが、SR8000/128 のディスクを参照している場合は異常終了となることがあります。